

NETIS登録番号	技術名称	横帯ブロック			
QS-110005-V	副題	横帯工用埋設型枠ブロック			
分類1	河川海岸	多自然型護岸工	ブロック積(張)工	キーワード: 工期短縮, 施工性向上	
分類2					
開発目標	作業環境の向上				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術				
特許	<input type="checkbox"/> 有り(特許番号:) <input checked="" type="checkbox"/> なし				
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	インフラテック株式会社		TEL	050-3085-9434
	住所	鹿児島県鹿児島市与次郎2-7-25		E-MAIL	moriyama@infratec.co.jp
	担当者	森山 典明			
実績件数 H26.7.31現在	国土交通省	その他の公共機関	民間等		
	38件	45件	0件		

技術概要: (300字以内)

河川護岸において、延長方向の一定区間毎に横帯工を設け、護岸の変位や破損が他に波及しないように絶縁するためのコンクリート二次製品です。本体・蓋版設置、生コンクリート打設、仕上げの簡易施工なので、現場打工法の型枠設置・撤去・養生期間が不要です。

■期待される効果

- ・型枠の設置、撤去、養生期間が不要なため、生コンクリート打設後、次工程の作業が行えるので、養生による工程待ちの解消や工期短縮が可能です。
- ・埋設型枠であり、生コンクリート打設時の型枠パレがありません。
- ・型枠工などの熟練工を必要としません。
- ・河川護岸法面部分のコテ仕上げ作業が不要です。

■適用範囲

①適用可能な範囲

- ・横帯工、小口止工
- ・適用寸法: 幅300mm、高さ650mm以下
- ・適用法面勾配: 水平~1割

②特に効果の高い適用範囲

- ・護岸工の横帯工として、法面勾配がゆるやかな箇所
- ・工期短縮を目的とする工事

■施工方法



①法面を規定の勾配に合わせ、基面整正を行ないます。



②本体の据付を行い、パール等で高さや倒れの調整を行います。



③側壁内側に、附属のボルト・丸座金を使用し、連結プレート(4ヶ所)を取付けます。



④生コンクリート投入口から生コンクリートを打設します。



⑤内部振動機を用い、締め固めを行います。



⑥生コンクリート投入口部分の清掃を行い、投入口蓋版の裏に差筋を取付け、投入口部分に設置します。



⑦付属のボルトを使用し、浮防止用金具を固定します。以後、④~⑦の作業を繰り返してください。



⑧側面、投入口蓋版部の2ヶ所で充填確認を行ってください。



⑨本体と投入口蓋版の隙間調整を行い、モルタルで目地詰めを行います。